

令和6年度 復職応援コミュニティ「おしゃべりカフェ らふ&ラフ」ご

1月15日(水)とちぎ福祉プラザにおいて、第4回「おしゃべりカフェ らふ&ラフ」を開催しました。みんなでおしゃべりすると、いろいろな情報も飛び出したり、手遊び、制作等、笑いあいの楽しい時間でした。



お正月もちつき
べったんべったん

もうじゅうがりに
いこーよ!

〇ミニ講座「4, 5歳児保育で大切なこと」

～「自己肯定感」を高めよう～

自己肯定感の成長に大きな影響を与える、6歳。脳の発達がピークを迎え、人間性のベースも形成するこの時期の子どもとの接し方は大切です。子どもの自己肯定感を高めるには・・・

- 1.＝無条件の愛を与え、子どもを尊重して育てる。肯定的な言葉がけは自己肯定感の土台となる＝
子どもの話を真剣に聞き、いつも気持ちに寄り添うように。
- 2.＝子どものなかに必要な力があると信じる・失敗を受け止め、挑戦する機会を与える・成功体験を積む＝
困ったときには「ヘルプ」ではなく「サポート」する。自分で選択して問題を解決することで、子どもにやる気と自己有能感が生まれる。
- 3.＝一緒に喜び一緒に感動し、太陽のように暖かく見守る＝
共感することで、喜びと充実感が生まれ、安心してチャレンジできる。
- 4.＝子どものやる気を引き出す関わり方を意識する・子どもに選択してもらう＝
小さなことでも選択権を与える
- 5.＝あるがままの姿を認める・他の子どもや兄妹と比較しない・子どもを個別に評価する＝
条件付き・比較付きの承認は、比較のなかでしか自分の価値を認められなくなってしまう。比較する対象は「過去の自分」だけにして、子どものあるがままの成長を喜ぶことが大切。
- 6.＝健康的な生活習慣を身につける＝
心と体は密接に結びついており、適切な食事は心の健康に大きな影響を与えることから、心と体のバランスを整えることで、自然と前向きな気持ちが芽生えてくる。

以上のことを踏まえて、保育への取り入れ方を工夫していけるような内容を盛り込みました。メモを取り、耳を傾ける参加者の姿も見受けられました。子育てや、ご自身にも反映できるような内容です。自己肯定感というものが分かれば、考え方もかわるかもですね。

作って遊ぼう

制作「紙コップけん玉」



材料：紙コップ、折り紙、たこ糸

紙コップを二つ繋げる作業は難しく、保育で取り入れる場合は、年齢により作業を見直したり、促す際の声掛けに工夫して、事前準備は大切という事を話しながら作っていききました。出来上がったけん玉を使って遊んでみると、上下でけん玉が入った時は、拍手!でした。

・懇談会「こんにちは 仲間たち」

今回の参加者の方は、保育士資格取得を目指す男性、ベテランの保育士さん、子育て中の保育士さんと皆さん立場はそれぞれ。あったかい飲み物でほっと一息ついて、大人向けに「自己肯定感チェックリスト」をやってみました。皆さん、平均で6、7つチェックが入っていて驚きました。自己肯定感の高低は、時間の経過で回復する程度であれば気にせず、必ずしも高くなければいけないものではないそうです。無理に変えず、何とかするぞー!という気持ちの 때가、高められる良いタイミングだそうです。続いて、今年の抱負をみなさんに聞いてみました。皆さん「就職」への抱負を述べていました。また、このような講座にもっと参加したら良かったとも話されていて、センターとしてもとても嬉しかったです。来年度も皆様のお力添えができるような企画をしていきたいと思っています。

今年度の「おしゃべりカフェ らふ&ラフ」は、今回をもって終了いたしました。来年度も楽しい企画をしていこうと思っています。ぜひご参加ください。お待ちしております。